

ソフトボール

専門委員長 日出 真理



本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為に年度当初は学校が休校になり、徳島県立学校再開は5月25日になりました。部活動の再開時期は各学校での対応は違いましたが、各高校部員集めが難航し大会に部員が揃わないこと

や県外遠征の自粛等で競技力向上に歯止めがかかった年でした。

4月の春季大会、6月の高校総体や四国選手権大会(香川県丸亀市)、7月の全国高校総体(広島県尾道市)はコロナの影響により大会中止になりました。

3年生の区切りとしての県総体代替大会は、健康状態や活動状況を考慮して、時間制限や観客制限を設けた中での大会でした。11月の新人戦でも応援者の声援の規制

や3密対策等の規制の中での大会開催に、各高校の選手ならびに関係者は競技以外に今までには経験したことがない気を配りながらの大会でした。

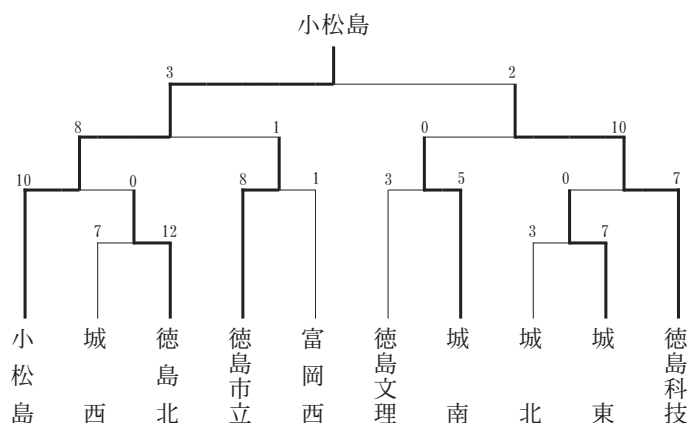
男子においては小松島高校が代替大会優勝、徳島科学技術高校が新人戦優勝、女子においては池田高校辻校が代替大会と新人戦に優勝しました。

本年度の男子においては小松島高校と徳島科学技術高校に城東高校、徳島市立高校が競い合う展開でありました。女子においては池田高校辻校と徳島商業高校が競い合う展開でありました。

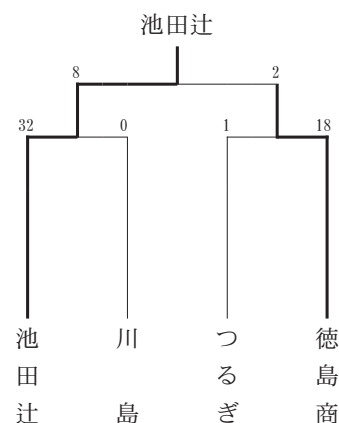
来年度は本年度延期になったオリンピックイヤーです。コロナ禍の中で縮小されての開催予定になります。少しでもスポーツで世界中がオリンピックムードに包まれれば、県内のソフトボール競技人口が増えるきっかけとなるだろうと考えます。未だ終息がみえない感染症に対して、さまざまな対策を行いながら競技人口の増加への取り組みや、競技力向上に対して力を入れていきたいです。

◎県高校総体代替大会 男子 令2.7.23・24 女子 令2.7.24 於 吉野川北岸ソフトボール場

<男子>

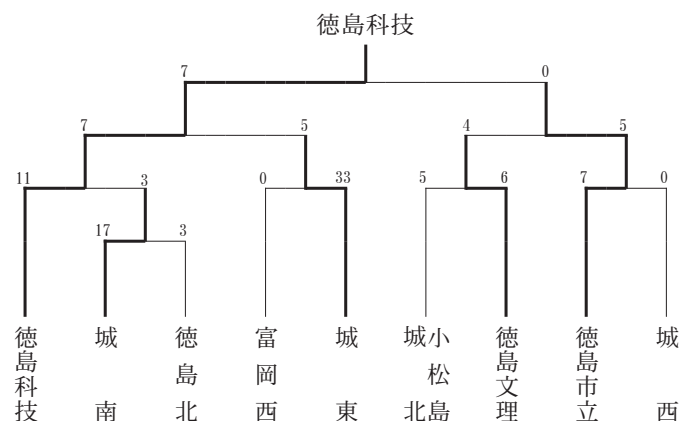


<女子>



◎県高校新人 令2.11.7・8 於 吉野川北岸ソフトボール場

<男子>



<女子>

